

令和6年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(令和6年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	株式会社 もりおかパークマネジメント		所 管 課	公園みどり課
所在地	〒 020 - 0803 盛岡市新庄字下八木田60番地18			
電話番号	(019) 654 - 8266		設立年月日	令和1年7月8日
代表者	代表取締役 加藤 彰 ☒ 常 勤 ☐ 非常勤		☒ 市OB ☐ 市現職 ☐ その他	
設立目的	都市開発事業、民間都市開発事業、観光開発及び産業振興事業に関する各種調査、研究、企画立案及びコンサルタント業務、動物園に関する経営及び運営等			
主要事業	① チケット販売、駐車場管理 ② 動物の飼育および治療 ③ 動物導入搬出及びブリーディングローン、動物の各種庁舎及び研究 ④ 事業の関連物品の販売、イベント企画・運営			

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無
☒ ある (アドレス http://zoomo.co.jp/)
☐ 作成中・作成計画あり (公開予定時期 令和 年 月) ☐ 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)
☒ 事業内容 ☐ 財務状況 ☐ 役員氏名 ☐ その他()
ホームページ以外での情報提供の方法

3 職員構成

(単位:人)

		常 勤			非常勤	合 計	
			うち市OB	うち市派遣			
役員	取締役	1	1	0	1	2	
	監査役	0	0	0	0	0	
	計	1	1	0	1	2	
職員	管理職	正職員	8	0	1	0	8
		臨時職員	0	—	—		
	一般職	正職員	28	1	0	2	30
		臨時職員		—	—		
	計	正職員	36	1	0	2	38
		臨時職員	0	—	—		
前年度と比較して職員数の増減		増 3	減 0	常勤職員の平均年齢		39.8 歳	
常勤職員の給与体系							
☒ 法人独自の給与体系 ☐ 市の給与体系を準用 ☐ その他()							

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	9,900 千円	本市出資等額	4,900 千円	本市出資等割合	49.4 %
主な出資等者					
① 盛岡市	(出資等割合 49.4 %)				
② 株式会社アイビーシー岩手放送	(出資等割合 5.0 %)				
③ 株式会社テレビ岩手	(出資等割合 5.0 %)				
④ 株式会社岩手めんこいテレビ	(出資等割合 5.0 %)				
⑤ 株式会社岩手朝日テレビ	(出資等割合 5.0 %)				
令和6年度における当 市の財的関与の状況	補助金	0 千円	(収入全体の	0.0 %)	
	負担金・交付金	19,065 千円	(収入全体の	6.1 %)	
	委託料	337 千円	(収入全体の	0.1 %)	
	指定管理料	99,396 千円	(収入全体の	31.8 %)	
	貸付金	0 千円	(収入全体の	0.0 %)	
補助金内訳					
①	(令和6年度予算額			千円)	
②	(令和6年度予算額			千円)	
③	(令和6年度予算額			千円)	
負担金・交付金内訳					
① 飼養動物のふん尿処理業務負担金	(令和6年度予算額			16,065 千円)	
② 動物調達業務負担金	(令和6年度予算額			3,000 千円)	
委託料内訳					
① 野生動物保護等	(令和6年度予算額			337 千円)	
②	(令和6年度予算額			千円)	
指定管理料内訳					
① 盛岡市動物公園の管理運営に関する年度協定	(令和6年度予算額			99,396 千円)	
②	(令和6年度予算額			千円)	
③	(令和6年度予算額			千円)	
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設	(利用料金制を採用している施設がある場合記入)		
		盛岡市動物公園			
		利用料金収入(令和6年度予算額)	115,097	千円	
		法人の収入全体の	36.8	%	

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	盛岡市動物公園
-------	---------

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
①入園者数	人	計画	47,104	80,000	180,000
		実績	65,500	64,337	177,262
②開園日数	日	計画	110	53	296
		実績	121	37	264
③物販・飲食事業収入	千円	計画	9,689	11,505	24,883
		実績	16,112	24,489	55,108
④催し物事業収入	千円	計画	2,727	2,586	7,604
		実績	1,703	5,482	14,935

※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛り込まれている目標等を記載してください。

2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。

3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

(単位:千円、%、人)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
収支の状況	売上高(A)	251,182	321,323	313,975
	売上総利益	110,655	146,851	126,294
	販売費・一般管理費(B)	76,829	116,769	125,705
	営業利益	33,826	30,082	589
	経常利益(C)	37,232	33,550	14,411
	税引前当期純利益	37,237	33,550	14,521
	当期純利益	25,551	24,634	11,539
財産の状況	資産(D)	123,105	189,734	193,397
	うち流動資産(E)	115,139	145,703	155,854
	うち固定資産	7,966	44,031	31,602
	負債	41,356	83,350	75,475
	うち流動負債(F)	41,356	58,322	53,137
	うち短期借入金(G)			
	うち有利子負債(H)			
	うち固定負債	0	25,028	22,338
	うち長期借入金(I)			
	うち有利子負債(J)			
	純資産	81,749	106,384	117,922
	うち資本金(K)	9,900	9,900	9,900
	うち剰余金(L)	71,849	96,484	108,022

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
組織の状況	常勤役員数(M)	1	1	1
	うち本市OB	1	1	1
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(N)	33	35	38
	うち常勤職員数	31	33	36
	うち本市OB	2	1	1
	うち本市派遣職員	1	0	1
	うち管理職員数	9	8	8
	常勤役員比率(M/総役員数)	0.5	0.5	0.5
	管理職員比率	27.3	22.9	21.1
	職員新規採用数	1	7	3
	うち常勤職員数	1	7	3
経営指標	売上高経常利益率(C/A)	14.8	10.4	4.5
	販売費・一般管理費比率(B/A)	30.5	36.3	40.0
	流動比率(E/F)	278.4	249.8	293.3
	借入金依存度((G+I)/D)	0.0	0.0	0.0
	自己資本比率((K+L)/D)	66.4	56.0	60.9
	有利子負債比率((H+J)/(M+N))	0.0	0.0	0.0
	職員一人当たり売上高(A/(M+N))	7,387	8,925	8,050
本市の財政的関与等の状況	補助金額	0	0	2,121
	① 指定管理者エネルギー価格高騰対策支援金	0	0	2,121
	②			
	負担金・交付金額	0	30,000	18,508
	① 外周支障木伐採業務	0	30,000	0
	② 飼育動物調達業務負担金	0	0	2,853
	③ ふん尿処理業務負担金			15,655
	委託金額	913	3,463	3,312
	① 野生鳥獣保護他	913	463	459
	② 飼育動物引取・輸送等	0	3,000	2,853
	上記のうち再委託額	418	1,963	749
	上記業務の委託契約方法	随意契約	随意契約	随意契約
	指定管理料	226,780	209,298	102,281
	① 盛岡市動物公園の管理運営に関する年度協定	226,780	209,298	102,281
	②			
	貸付金額			
	損失補償額			
	債務保証額			
令和5年度決算の概要		リニューアルオープンは上手くいったものの、野生のクマの侵入に伴う繁忙期の臨時休園や、夏季の高温、物価高騰の影響などにより、やや失速してしまいましたが、補助金等をいただくことにより黒字は確保できました。		

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

A	A:良好、 B:概ね良好、 C:改善を要する、 D:大いに改善を要する
(コメント) 令和5年度から、指定管理料が大きく減額となったが、リニューアルオープン後であることや、効果的な広報活動などから黒字化しているため、財務状況は良好と言える。次年度以降も、入園料や物品販売売上を確保し、長期的な経営の安定化に努めていただきたい。	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	令和4年度決算において黒字である。	○	
2	令和5年度決算において黒字である。	○	
3	累積欠損金がある。		○
4	令和5年度決算において減価償却前黒字である。		
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。		
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。		
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。		
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。		